

HTML・CSSについて

WEBプログラミングの基本になるHTMLの言語とCSSの言語を学びます。

HTMLは、WEBブラウザへ「このWEBページは何を掲載しているかを伝える」為の言語になり、CSSは「そのWEBページをデザインする」為の言語です。また、他の言語との関連性を理解しPCやスマートフォンで見る「様々なデバイスに対応したWEBサイト」の構造を学びましょう。



◆HTMLとは？

HTMLは、WEBブラウザへ「このWEBページは何を掲載しているかを伝える」為の言語です。

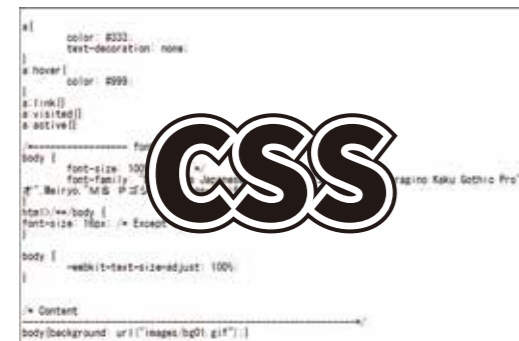
例えば...

他のページへ「リンク」する場合は

```
<a href="https://www.adobe.com/jp/">アドビ公式サイトへ</a>
```

とプログラムを記述します。

そのHTML言語を使って、WEBブラウザに伝える為の言語を学びます。



◆CSSとは？

CSSは「そのWEBページをデザインする」為の言語です。

例えば...

文字の色を赤にするには、

```
a {
  color:#ff0000;
```

```
}
```

とプログラムを記述します。

そのCSS言語を使って、WEBブラウザに伝える為の言語を学びます。



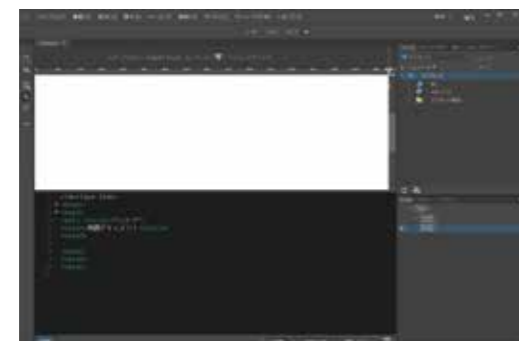
◆マルチデバイス対応について

昨今のWEBサイトは、PCで見るだけではなく、スマートフォンやタブレットや各メーカーのゲーム機器など様々な環境でWEBサイトを閲覧出来るようになってきました。

その様々な環境「デバイス」に対応する技術として「レスポンスWEBデザイン」を学習していきます。

レスポンスWEBデザインとは、デザインの為の言語である「CSS」を利用した技術です。これを習得し、現在最も求められるプログラムの技術「スマートフォン用サイト(マルチデバイス対応のWEBサイト)の作成」を習得しましょう。

Adobe Dreamweaverについて



Adobe Dreamweaver (アドビドリームウィーバー) は、ひとことで言うとWEBサイト制作ソフトです。編集機能やレイアウトの表示機能、ファイル管理機能など、制作や更新作業に必要な機能がひとまとめになっている、統合ソフトウェアとなります。

またDreamweaverは「Webオーサリングツール」などとも呼ばれます。

ホームページは基本的に「HTML+画像」なので、頑張れば「メモ帳+ペイント」でもなんとか作れます。

しかし、作業効率などやミスの防止などを考えると、専用ソフトを利用した方が効率的に作業が行えるので、Webオーサリングツールの一つである「Dreamweaver」の利用方法を学んでみましょう。



WEBデザインを楽しみましょう

